

100周年まで
365日
九十九年
おかげさま

新世紀

古風かもしれない。頑かたくなかもしれない。
しかしだからこそ、その信念は百年を
経ても確固として揺らぐことがない。
明治四十三年。門屋組は産声をあげた。
社章の「留」は誠実一途、顧客本位の
姿勢を貫いた創業者留一郎の一字から。
今日もその気概は変わらない。

長い歴史の中で、何度も時代の荒波に
翻弄された。しかしその度に、変革を
好機として果敢に立ち向かってきた。
百年を目前に、情熱と感謝の気持ちを
携えて時代に立ち向かう。
そのキーワードは「新」と「旧」の二人三脚。
新世紀を前に、今胎動が始まっている。

満足していただく。

信頼していただく。



留 株式会社 門屋組
www.kadoyagumi.com

■本社 / 松山市吉藤3丁目2番1号
TEL.089 (924) 8771 FAX.089 (923) 5223
■支店 / 広島市中区光南1丁目16番11号 (広島不動産ビル101)
TEL.082 (542) 5354 FAX.082 (243) 1832

代表取締役副社長 門屋 光彦



宇都宮弘之 撮影

左の写真は松山東高にある明教館です。松山藩の藩校として有為の人材を多数育ててきました。昭和12年に県庁前から現在の場所に「門屋組」の手で移転改築されました。昭和20年、松山市が米軍の空襲によって松山中学校舎が全焼したとき、当時中学2年生であった生徒たちの働きで守り抜かれました。そのときの中学2年生が昭和25年、松山東高校一期生として卒業し、同期会「二五会」を結成して、昨年喜寿を迎えました。明教館の消火の指揮をとられた八塚先生も満96歳、なおご健在でがんばっておられます。右の写真は「二五会の喜寿を祝う会」で八塚先生を囲んでの一枚です。



喜寿を祝う会で八塚先生を囲んで(八塚先生 前列右から2人目)